

イオン、国分、ハローズ、農水省のキーマンがSDGs実現に向けて食品ロス削減などの取組み状況を講演

待ったなしの食品ロス削減にいかに取り組む、地域社会と共生するかを考える

11月15日(金)
東京・八重洲

・SDGs実現へ、新たな局面に入る

・商習慣改善や技術革新により食品ロス削減進む ・サプライチェーン全体で食品ロス削減

国内においてSDGsに対する認知度は高まりつつあります。こうした中、企業価値と社会価値を共有、その戦略に基づく取組みを本業に組み込み、新たなビジネスチャンスを見出していくことが重要になっています。SDGsでは30年までに世界全体の1人当りの食品廃棄を半減させる目標を掲げました。国内ではまだ食べられるのに捨てられている食品が643万トン(16年推計)あり、このうち352万トンが事業系で発生しています。今年5月に成立した食品ロス削減推進法では事業者等が食品ロス削減に取り組む努力義務規定が課せられ、同法の基本方針に、事業系食品ロスを30年度までに00年度比で半減させる目標が設定されました。こうした社会環境の変化から食品ロス削減

のための諸施策を経営戦略に組み込む企業が増えています。具体的な項目として、商習慣の見直し、実需に見合った商品供給、売り切る方策、販売期間の延長、余剰食品の利活用などが上げられます。

持続可能な社会の実現や気候変動対策を社会貢献活動として捉えるだけではなく、利益にも貢献するビジネスチャンスとして認識し、自社の経営戦略や中期経営計画の中に採り入れられている先進企業様から学びたいとの思いからセミナーを企画いたしました。今回4名様からご講演頂き、受講企業様が取り組むべき課題の解決や新たな方向性を見出すヒントになればと考えています。奮っての受講申し込みをお待ちしております。

プログラム

13:30 ● ご挨拶

(一社)日本スーパーマーケット協会 事務局長 | 城内 康秀

13:40~14:10 ● 講演1

「食品ロス削減の推進に関する法律の概要について」

農林水産省 食品産業局 バイオマス循環資源課 | ご担当官

14:10~15:10 ● 講演2

「SDGs実現で商習慣が変わる。食品ロス削減に向けた国分の取組み」

— サプライチェーンの連携を通じて社会課題の解決に寄与する —

国分グループ本社(株) 取締役執行役員経営統括本部副本部長兼経営企画部長
兼 ヘルスケア統括部長 | 相澤 正邦 氏



15:20~16:20 ● 講演3

「岡山県を中心に連携の輪を広げるフードバンク支援の取組み」

— パート社員の“もったいない”が契機、フードロスはこうして減らす —

(株)ハローズ 商品本部副本部長 商品管理室長 | 太田 光一 氏



16:30~17:30 ● 講演4

「深化するイオンのサステナブル経営。食品ロス削減へ独自の視点」

— 10×20×30 食品廃棄物削減イニシアティブに参画する —

イオン(株) 執行役 環境・社会貢献・PR・IR担当 | 三宅 香 氏



開催要項

主催 一般社団法人 日本スーパーマーケット協会 (東京都中央区日本橋 2-2-6)

事務局 (株)ストアジャパン社、(株)SJ 流通戦略研究所 TEL : 03-6680-3084

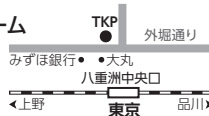
期日 令和元年 11月15日(金) 13:30~17:30(受付開始 13:00)

会場 東京・TKP東京駅セントラルカンファレンスセンター10階 Aセミナールーム
東京都中央区八重洲 1-8-16 新槇町ビル

定員 120名(先着順/事前登録制) ※定員になり次第締め切り

参加費 1人15,000円(税込)

定員次第締め切り
申込はお早めに!



「(一社)日本スーパーマーケット協会主催、新規事業研究セミナー第21回」参加申込書

「(一社)日本スーパーマーケット協会主催、新規事業研究セミナー第21回」に _____ 名、参加します

貴社名 _____ (ご氏名)

お申込者 _____ (ご氏名)

〒 _____ E-mail _____

ご住所 _____ (役職名) _____ (役職名)

_____ (ご氏名) _____ (ご氏名)

ご参加者 _____

電話番号 _____ FAX番号 _____

FAX:03-5350-2672 ストアジャパン社行き

参加者が複数の場合は申込書をコピーして使用して下さい(「ご参加者」欄に並記していただいても宜しいです)。参加費は申込後発行します請求書に従い御支払い下さい。入金を確認次第、受講票、会場案内図などを郵送します。